

25がんセンター 監視カメラ設備改修工事

(工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする)

図面番号	図面名称	縮尺		図面番号	図面名称	縮尺	
		A1版	A3版			A1版	A3版
	表紙・図面リスト	NS	NS	E-26	監視カメラ設備（医療用）改修後 4階平面図	1/200	1/400
E-01	電気設備工事特記仕様書（1）	NS	NS	E-27	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 系統図	NS	NS
E-02	電気設備工事特記仕様書（2）	NS	NS	E-28	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 ブロック図	NS	NS
E-03	案内図・配置図	1/800	1/1600	E-29	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 地下1階平面図	1/200	1/400
E-04	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 系統図	NS	NS	E-30	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 1階平面図	1/300	1/600
E-05	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 ブロック図	NS	NS	E-31	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 2階平面図	1/300	1/600
E-06	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 機器姿図（1）（参考図）	NS	NS	E-32	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 3階平面図	1/300	1/600
E-07	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 機器姿図（2）（参考図）	NS	NS	E-33	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 4階平面図	1/200	1/400
E-08	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 地下1階平面図	1/200	1/400	E-34	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 5階平面図	1/200	1/400
E-09	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 1階平面図	1/300	1/600	E-35	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 6階平面図	1/200	1/400
E-10	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 2階平面図	1/300	1/600	E-36	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 7階平面図	1/200	1/400
E-11	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 3階平面図	1/300	1/600	E-37	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 8階平面図	1/200	1/400
E-12	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 4階平面図	1/200	1/400	E-38	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 9階平面図	1/200	1/400
E-13	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 5階平面図	1/200	1/400	E-39	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 10階平面図	1/200	1/400
E-14	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 6階平面図	1/200	1/400	E-40	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 11階、PH階平面図	1/200	1/400
E-15	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 7階平面図	1/200	1/400	E-41	監視カメラ設備（セキュリティ）改修前 外構図	1/400	1/800
E-16	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 8階平面図	1/200	1/400	E-42	監視カメラ設備（医療用）改修前 ブロック図（1）	NS	NS
E-17	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 9階平面図	1/200	1/400	E-43	監視カメラ設備（医療用）改修前 ブロック図（2）	NS	NS
E-18	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 10階平面図	1/200	1/400	E-44	監視カメラ設備（医療用）改修前 1階平面図	1/300	1/600
E-19	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 11階、PH階平面図	1/200	1/400	E-45	監視カメラ設備（医療用）改修前 2階平面図	1/300	1/600
E-20	監視カメラ設備（セキュリティ）改修後 外構図	1/400	1/800	E-46	監視カメラ設備（医療用）改修前 3階平面図	1/300	1/600
E-21	監視カメラ設備（医療用）改修後 ブロック図（1）	NS	NS	E-47	監視カメラ設備（医療用）改修前 4階平面図	1/200	1/400
E-22	監視カメラ設備（医療用）改修後 ブロック図（2）、機器姿図（参考図）	NS	NS				
E-23	監視カメラ設備（医療用）改修後 1階平面図	1/300	1/600				
E-24	監視カメラ設備（医療用）改修後 2階平面図	1/300	1/600				
E-25	監視カメラ設備（医療用）改修後 3階平面図	1/300	1/600				

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

- 1.1 工事名 25がんセンター監視カメラ設備改修工事
1.2 工事場所 埼玉県北足立郡伊奈町小室780
1.3 工期 約 日から 令和9年3月31日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

1.4 工事科目 (印の付いたものを適用する)

電灯設備	テレビ共同受信設備
動力設備	テレビ電波障害防除設備
電気設備	監視カメラ設備
電気設備	駐車場管制設備
電気設備	防犯、入退室管理設備
電力計測設備	自動火災報知設備
電気設備	自動閉鎖設備
電気設備	ガス漏れ火災警報設備
構内情報通信網設備	電話配管設備
構内交換設備	中央監視制御設備
情報表示設備	映像、音響設備
拡声設備	昇降機設備
拡声設備 (非常放送設備)	昇降機設備
誘導支援、呼出し設備	仮設電源設備

1.5 指定部分 ◎ 無 有 (工期: 令和 年 月 日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、(①現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間・令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中止
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、

工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要
病院棟 R.C 造 地上 11 階、地下 1 階、塔屋 1 階

1.8 工事概要
病院監視カメラ設備一式 (セキュリティ及び医療用) を更新する。

1.9 同時期备注の関連工事 建築工事 機械設備工事

2. 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官房長官部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。) 及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工工事において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、印のついたもののがなければ※印を適用し、印のものは適用しない。)
◎印と印の付いた場合は、共に適用する。)

項 目 特 記 事 項

1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承認を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づく特定調達品目に該当する機器を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日にに関する法律 (SG3第91号) に定める行政機関の休日以外。 上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが 指できる。 できない。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で 挑ける (規模) 指けない
7 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後 14 日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン 指適用する 通用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3 二つ折り製本 4 部とする。
10 発生材処理	引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

11 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で融融アメキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。										
12 鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。										
13 地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか記述及び図面特記による。 <table border="1" data-bbox="1105 265 1546 361"> <tr> <th>敷き均し土</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>良質土</td> <td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆管 (PLP)</td> </tr> </table>	敷き均し土	管種別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆管 (PLP)						
敷き均し土	管種別										
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆管 (PLP)										
14 回路の種別 行先の表示	(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは、画面特記による。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。 ハンドホール・ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。										
15 電線の接続	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付たうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をてもよい。ただし、接続はボックス内とする。										
16 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし法としてもよい。										
17 接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／赤色で区別する。										
18 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。										
19 再生砂・再生碎石 再生アスコン使用	※再生砂などは使用できない。 ・監督員の承諾を得て、再生砂などを表面層を除く箇所に使用できる。 再生砂使用に先立ち、1 購入あたり 1 段体の六価クロム溶出試験を行い土壤の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。										
20 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修) を参考とする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。 設計用標準水平震度 <table border="1" data-bbox="1105 1089 1546 1291"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般的の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </table>	設置場所	機器種別	特定の施設		一般的の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
設置場所	機器種別			特定の施設		一般的の施設					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器						

25 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建築調査者により実施し、アスベスト使用有無に問わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
26 電気保安技術者	(a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。 (b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出して承認を受ける。 (1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理技術者又はこれと同等の知識及び経験を有する者。 (2) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気主任技術者の資格を有する者。 (c) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。 (d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。 (e) 電気主任技術者を別途配置している電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。
27 工事用電力設備の保安責任者	(a) 受注者は、工事用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。 (b) 保安責任者は、前項 2.7 の電気保安技術者が兼任できる。 (c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。
28 その他	(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承認後製作する。 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承認後施工する。 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 (6) 改修工事を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 (9) 特記なき振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すこと。

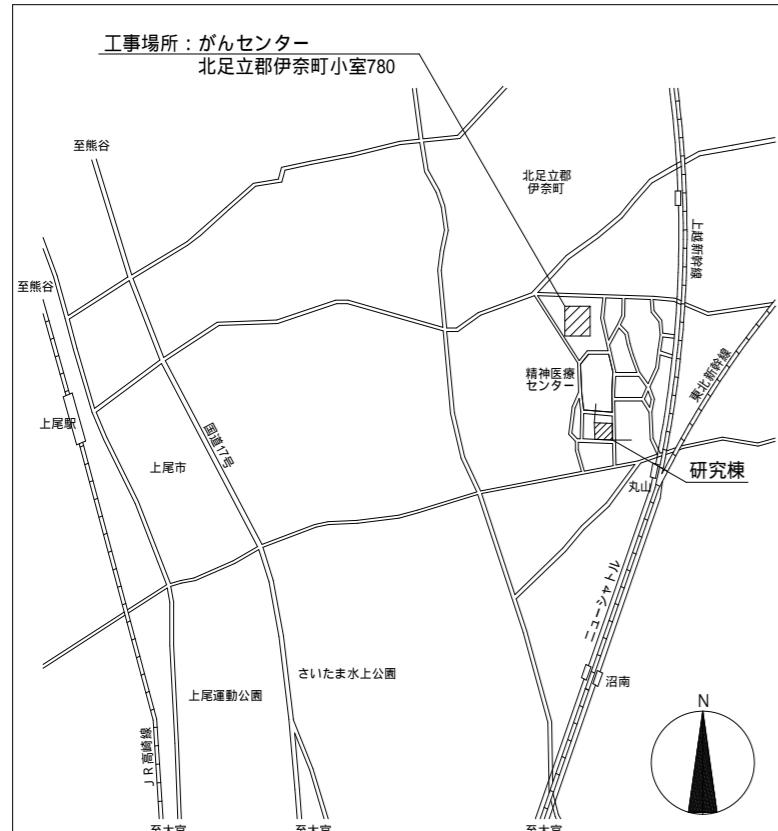
項 目	特 記 事 項
7 発電設備	・ディーゼル発電装置 ・ガスタービン発電装置 ・燃料電池発電装置 ・太陽光発電装置 ・(概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火警報警設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合管内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官房長官部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ

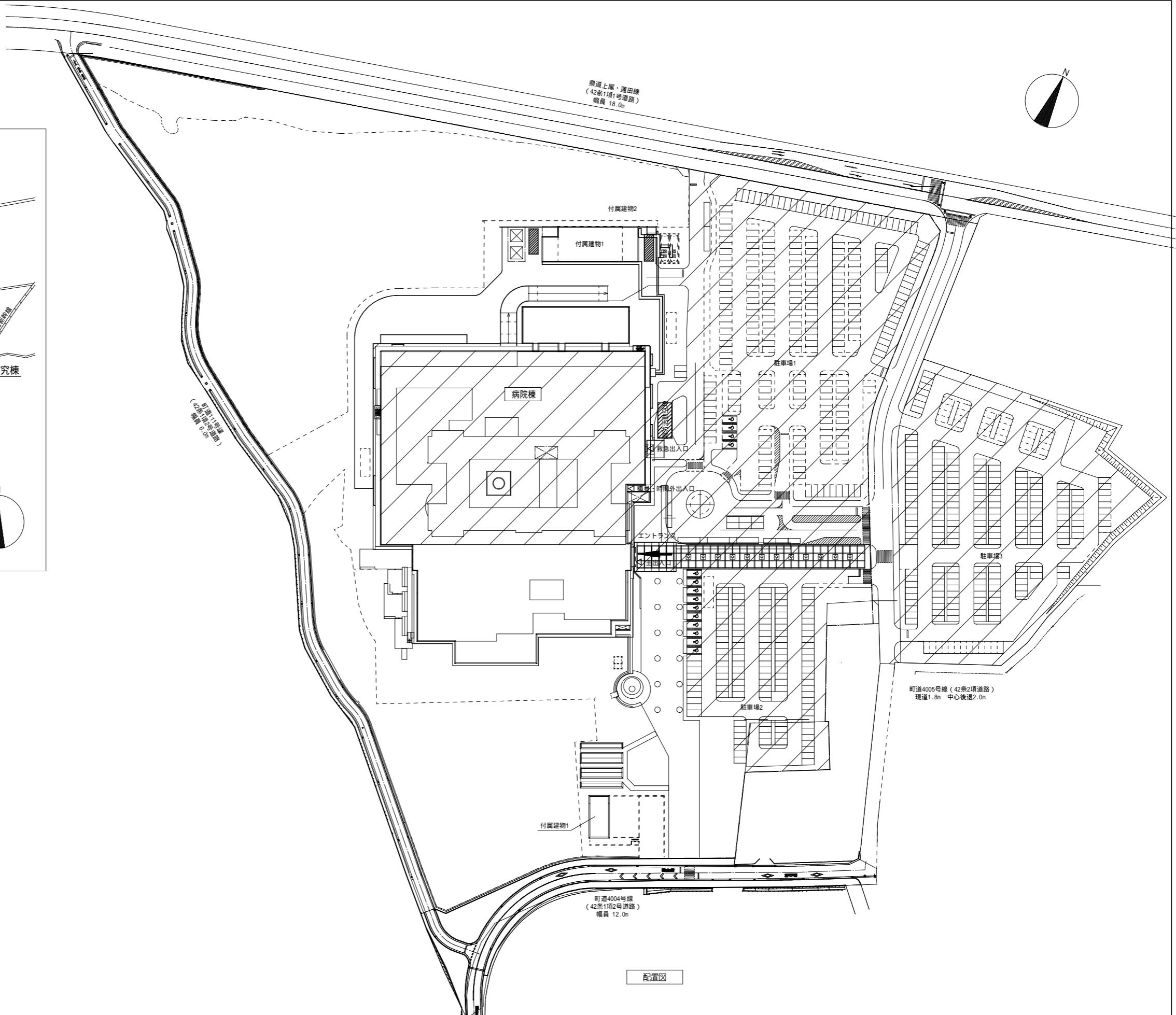
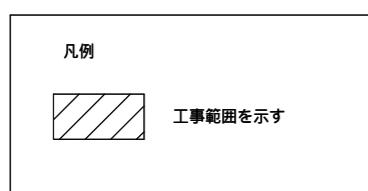
壁付、柱掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)
		一般 県営住宅
スイッチ (一般)	床座～中心	1,300 1,200
〃 (身体障害者用)	〃	1,100 1,000
〃 (人感センサー切換用)	〃	2,000 2,000
コンセント、電話用アダプタ、直列1コト (一般)	〃	300 400
〃 (和室)	〃	150 200
防水型コンセント	台上～中心	500 500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下) 1,500 (上端1,900以下) 1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	900 900
復帰ボタン (〃)	〃	1,800 1,800
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000 2,

環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	<p>留意事項</p> <p>1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。</p> <p>2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。</p> <p>3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官営施設部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。</p>	<p>4 7アスベスト含有吹き付け材の撤去（レベル1）</p> <p>アスベスト含有吹き付け材の除去 ・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th><th>厚さ（mm）</th><th>処理を行う範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 図示</td><td>・</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲	※ 図示	・								9.1.3																																																																																																																																																																																																
材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																														
※ 図示	・																																																																																																																																																																																																															
2 アスベスト含有分析 調査	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査 ・行う（下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th><th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト） 調査方法・分析方法 ※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。 分析結果については、監督員に提出すること。</p>	材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]</p> <p>・行う（下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th><th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> <tr> <td>※ 定性分析</td><td>・定量分析</td></tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト） 調査方法・分析方法 ※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。 分析結果については、監督員に提出すること。</p>	材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	<p>9.1.1</p>																																																																																																																																																																																									
材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																															
3 アスベスト粉じん 濃度測定	<p>アスベスト粉じん濃度測定 ・行う（測定箇所及び測定点は下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th><th>測定名</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数（各処理作業室ごと）</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レバーレベル1</td><td>レバーレベル2</td><td>レバーレベル3</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定1</td><td>処理作業室内 ※各2点・各3点</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定2</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>測定3</td><td>処理作業室内 各2点</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>測定4</td><td>セキュリティーゾーン入口 各1点 空気の流れを確認</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>測定5</td><td>負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は 各1点)</td><td>除じん装置の性能確認</td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定6</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定7</td><td>処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定8</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>測定9</td><td>処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>測定10</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の纖維状粒子測定方法 第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定3</th><th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th><th>測定5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器 位相差・分散顕微鏡</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ノブレンジャーの直径 25 mm</td><td>47 mm</td><td></td></tr> <tr> <td>試料の吸引流量 1 l/min</td><td>5 l/min</td><td>10 l/min</td></tr> <tr> <td>試料の吸引時間 5 min</td><td>120 min</td><td>240 min</td></tr> <tr> <td>試料の透明化 アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計数アスベスト 直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>定量限界 50 f/l</td><td>0.5 f/l</td><td>0.3 f/l</td></tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成（記録する項目）</p> <p>ア 測定結果</p> <p>イ 測定時間</p> <p>ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）</p> <p>エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）</p> <p>オ マンディング方法</p> <p>カ 顕微鏡視野面積、計数視野数</p> <p>キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p>	適用	測定名	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考	レバーレベル1	レバーレベル2	レバーレベル3				○	○	・	測定1	処理作業室内 ※各2点・各3点		○	○	・	測定2	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		・	・	・	測定3	処理作業室内 各2点		○	・	・	測定4	セキュリティーゾーン入口 各1点 空気の流れを確認		○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は 各1点)	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定6	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		○	○	・	測定7	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)		○	○	・	測定8	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		・	・	・	測定9	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)		・	・	・	測定10	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5	計数機器 位相差・分散顕微鏡			ノブレンジャーの直径 25 mm	47 mm		試料の吸引流量 1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間 5 min	120 min	240 min	試料の透明化 アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法			計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野			計数アスベスト 直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質			定量限界 50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	<p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>・行う（測定箇所及び測定点は下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th><th>測定名</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数（各処理作業室ごと）</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レバーレベル1</td><td>レバーレベル2</td><td>レバーレベル3</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定1</td><td>処理作業室内 ※各2点・各3点</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定2</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>測定3</td><td>処理作業室内 各2点</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>測定4</td><td>セキュリティーゾーン入口 各1点 空気の流れを確認</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>測定5</td><td>負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は 各1点)</td><td>除じん装置の性能確認</td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定6</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定7</td><td>処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)</td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>・</td><td>測定8</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>測定9</td><td>処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>測定10</td><td>施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の纖維状粒子測定方法 第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定3</th><th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th><th>測定5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器 位相差・分散顕微鏡</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ノブレンジャーの直径 25 mm</td><td>47 mm</td><td></td></tr> <tr> <td>試料の吸引流量 1 l/min</td><td>5 l/min</td><td>10 l/min</td></tr> <tr> <td>試料の吸引時間 5 min</td><td>120 min</td><td>240 min</td></tr> <tr> <td>試料の透明化 アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計数アスベスト 直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>定量限界 50 f/l</td><td>0.5 f/l</td><td>0.3 f/l</td></tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成（記録する項目）</p> <p>ア 測定結果</p> <p>イ 測定時間</p> <p>ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）</p> <p>エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）</p> <p>オ マンディング方法</p> <p>カ 顕微鏡視野面積、計数視野数</p> <p>キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p>	適用	測定名	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考	レバーレベル1	レバーレベル2	レバーレベル3				○	○	・	測定1	処理作業室内 ※各2点・各3点		○	○	・	測定2	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		・	・	・	測定3	処理作業室内 各2点		○	・	・	測定4	セキュリティーゾーン入口 各1点 空気の流れを確認		○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は 各1点)	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定6	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		○	○	・	測定7	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)		○	○	・	測定8	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		・	・	・	測定9	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)		・	・	・	測定10	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5	計数機器 位相差・分散顕微鏡			ノブレンジャーの直径 25 mm	47 mm		試料の吸引流量 1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間 5 min	120 min	240 min	試料の透明化 アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法			計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野			計数アスベスト 直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質			定量限界 50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	<p>9.1.1</p>							
適用	測定名	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考																																																																																																																																																																																																											
レバーレベル1	レバーレベル2	レバーレベル3																																																																																																																																																																																																														
○	○	・	測定1	処理作業室内 ※各2点・各3点																																																																																																																																																																																																												
○	○	・	測定2	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
・	・	・	測定3	処理作業室内 各2点																																																																																																																																																																																																												
○	・	・	測定4	セキュリティーゾーン入口 各1点 空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																												
○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は 各1点)	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																																																											
○	○	・	測定6	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
○	○	・	測定7	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)																																																																																																																																																																																																												
○	○	・	測定8	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
・	・	・	測定9	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)																																																																																																																																																																																																												
・	・	・	測定10	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5																																																																																																																																																																																																														
計数機器 位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																																
ノブレンジャーの直径 25 mm	47 mm																																																																																																																																																																																																															
試料の吸引流量 1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																																																														
試料の吸引時間 5 min	120 min	240 min																																																																																																																																																																																																														
試料の透明化 アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法																																																																																																																																																																																																																
計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野																																																																																																																																																																																																																
計数アスベスト 直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質																																																																																																																																																																																																																
定量限界 50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																																																														
適用	測定名	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考																																																																																																																																																																																																											
レバーレベル1	レバーレベル2	レバーレベル3																																																																																																																																																																																																														
○	○	・	測定1	処理作業室内 ※各2点・各3点																																																																																																																																																																																																												
○	○	・	測定2	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
・	・	・	測定3	処理作業室内 各2点																																																																																																																																																																																																												
○	・	・	測定4	セキュリティーゾーン入口 各1点 空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																												
○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は 各1点)	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																																																											
○	○	・	測定6	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
○	○	・	測定7	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)																																																																																																																																																																																																												
○	○	・	測定8	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
・	・	・	測定9	処理作業室内 各2点 (レバーレベル3は1点)																																																																																																																																																																																																												
・	・	・	測定10	施工区画周辺又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																																																												
測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5																																																																																																																																																																																																														
計数機器 位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																																
ノブレンジャーの直径 25 mm	47 mm																																																																																																																																																																																																															
試料の吸引流量 1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																																																														
試料の吸引時間 5 min	120 min	240 min																																																																																																																																																																																																														
試料の透明化 アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法																																																																																																																																																																																																																
計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野																																																																																																																																																																																																																
計数アスベスト 直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質																																																																																																																																																																																																																
定量限界 50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																																																														
4 7アスベスト含有吹き付け材の撤去（レベル1）	<p>アスベスト含有吹き付け材の除去 ・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th><th>厚さ（mm）</th><th>処理を行う範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 図示</td><td>・</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲	※ 図示	・								9.1.3																																																																																																																																																																																																		
材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																														
※ 図示	・																																																																																																																																																																																																															



案内図



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 菅理幹	主幹 ○	主査 中村	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/800 A3:1/1600	工事名称 設備工事 2.5 がんセンター病院棟監視カメラ設備改修工事	図面番号 E - 03
					山口 岩波 藤村						
									設計年月日 R.7.12.26	図面名称 案内図・配置図	

凡例

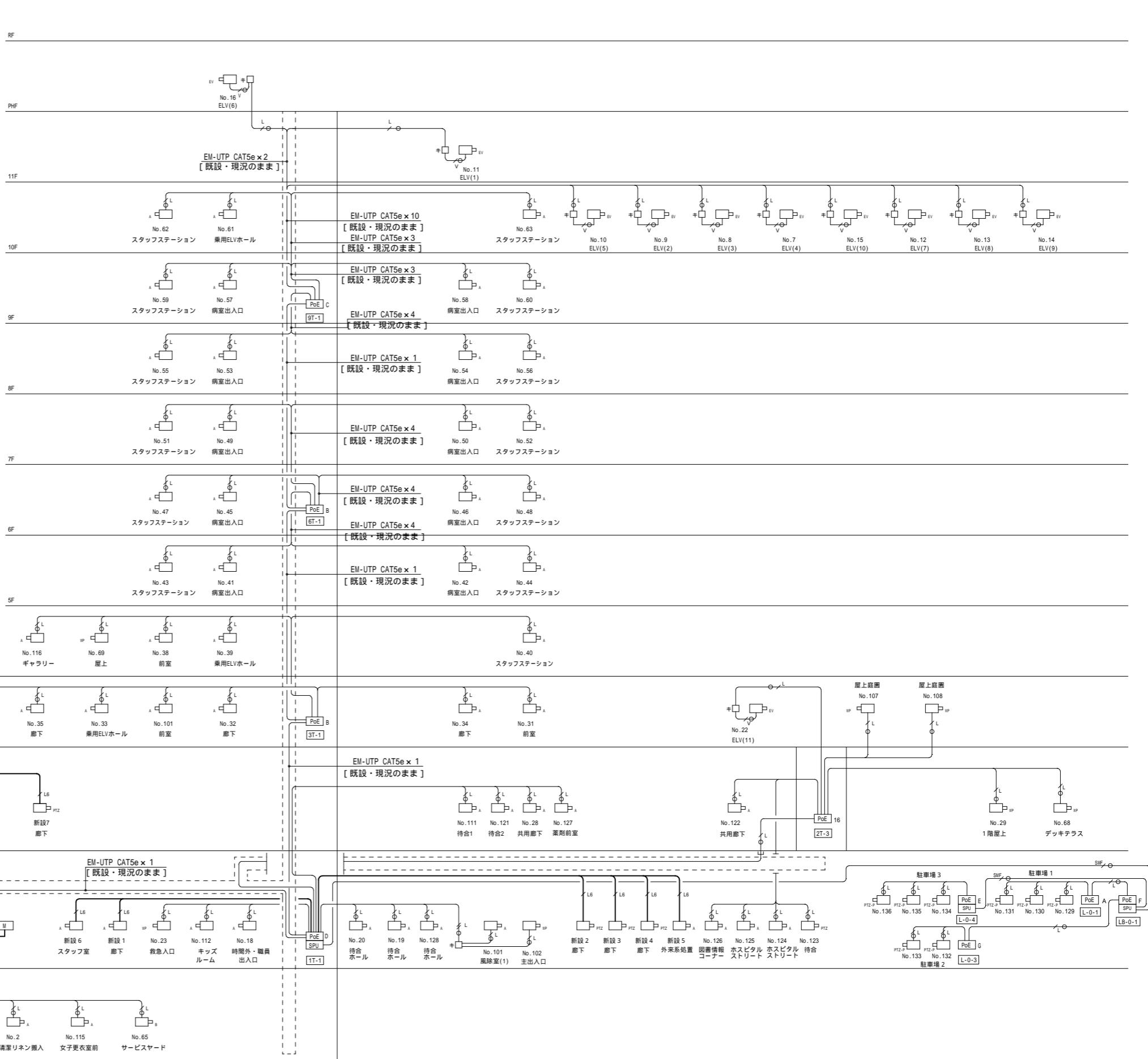
記号	名 称	備 考
ITV	I T V 架	
W	5 5 型液晶モニター (天吊)	
PC	検索用 PC	
PoE A	PoE SW (L - 0 - 1)	
PoE B	PoE SW (16 ポート)	
PoE C	PoE SW (24 ポート)	
PoE D	PoE SW (1T - 1)	
PoE E	PoE SW (L - 0 - 4)	
PoE F	PoE SW (LB - 0 - 1)	
PoE G	PoE SW (L - 0 - 3)	
A	ネットワークカメラ (天井埋込)	
B	ネットワークカメラ (壁付)	
PTZ	ネットワークコンピューションカメラ (天井埋込)	
PTZ-P	ネットワークコンピューションカメラ (ポール取付)	
NP	ネットワークカメラ (屋外、壁付)	
EV	EV 用ネットワークカメラ	

指示なき配管・配線は下記とする。

L	EM - UTP CAT5e 保護管 (PF 16)
L	EM - UTP CAT5e x 2 保護管 (PF 22)
SMF	E M ケーブル
V	E M - 5C - 2E 保護管 (PF 16)
L6	E M - UTP CAT6 保護管 (PF 16)
○	配管配線 現況のまま再使用

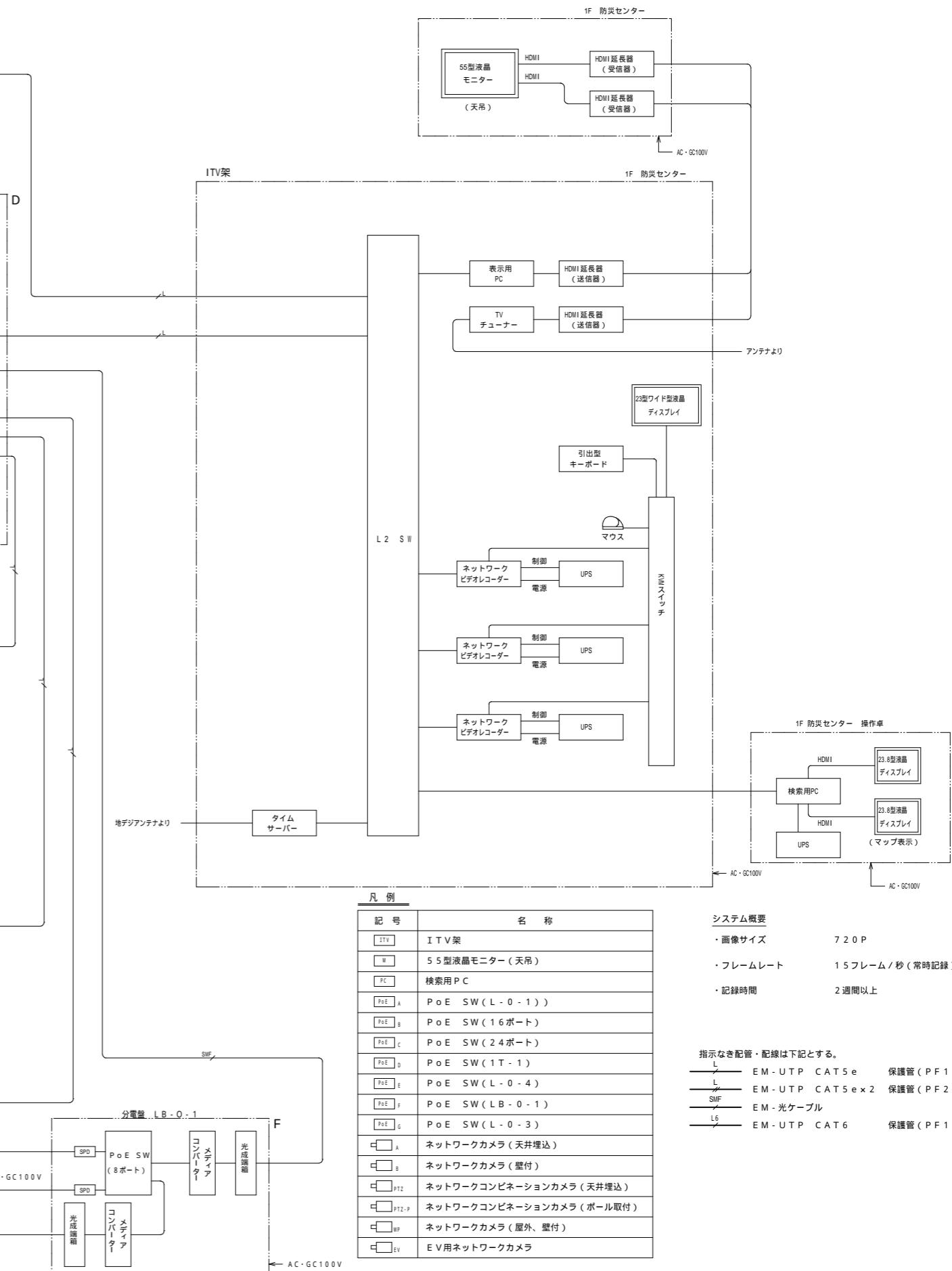
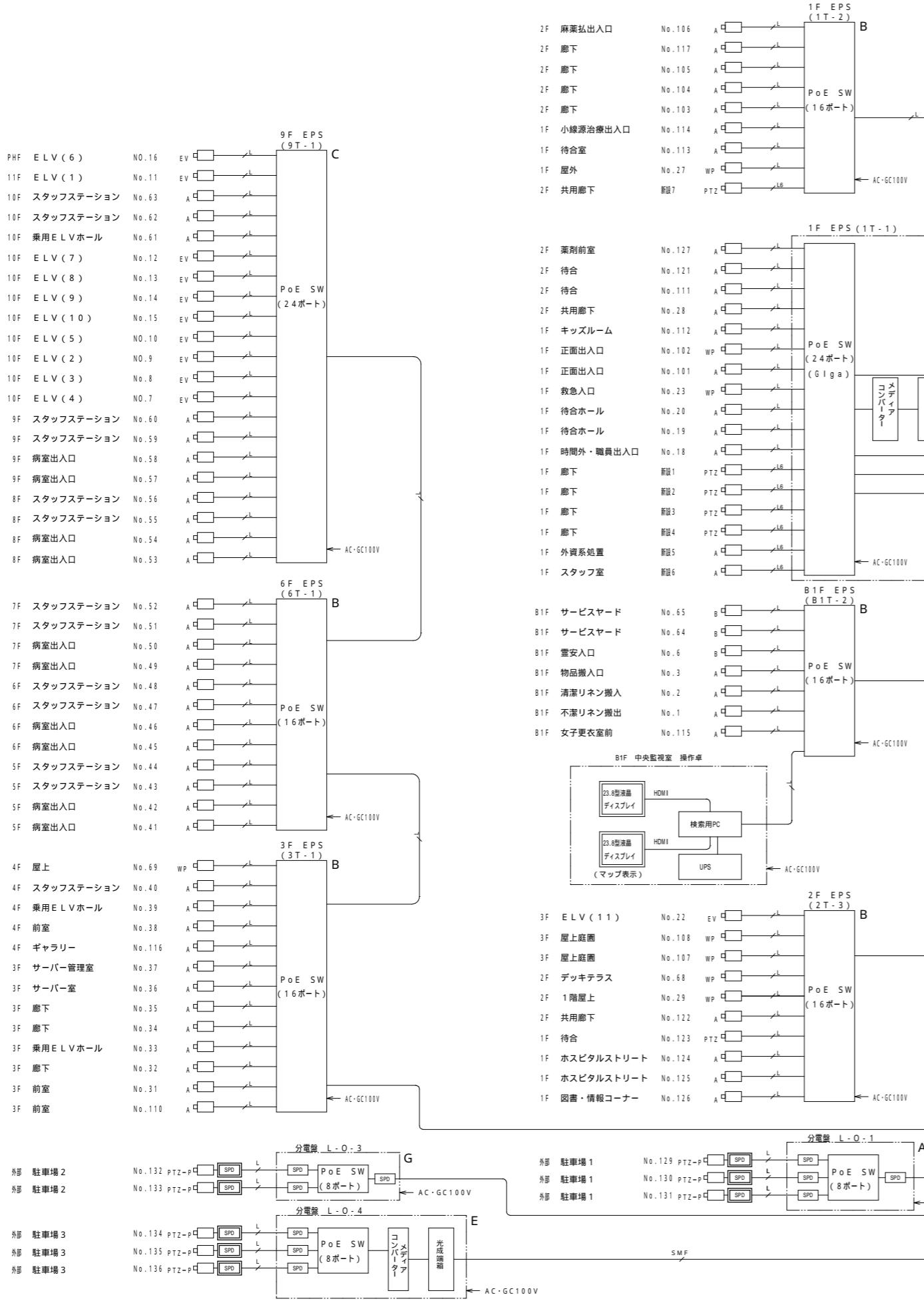
注記

1. 本工事に際し、既設現況を調査し発注者と十分協議・検討の上施工に当たること。
2. 尚、既設機器・配線の保護は勿論、機能的に支障のないよう注意するとともに復旧は完全に行うこと。
3. 図中、キは既設現況のまま再使用とする。
4. 二重天井内はコロガシ配線とし、立上げ・引き下げ 壁・梁貫通部は保護管により保護すること。
5. ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施すとする。



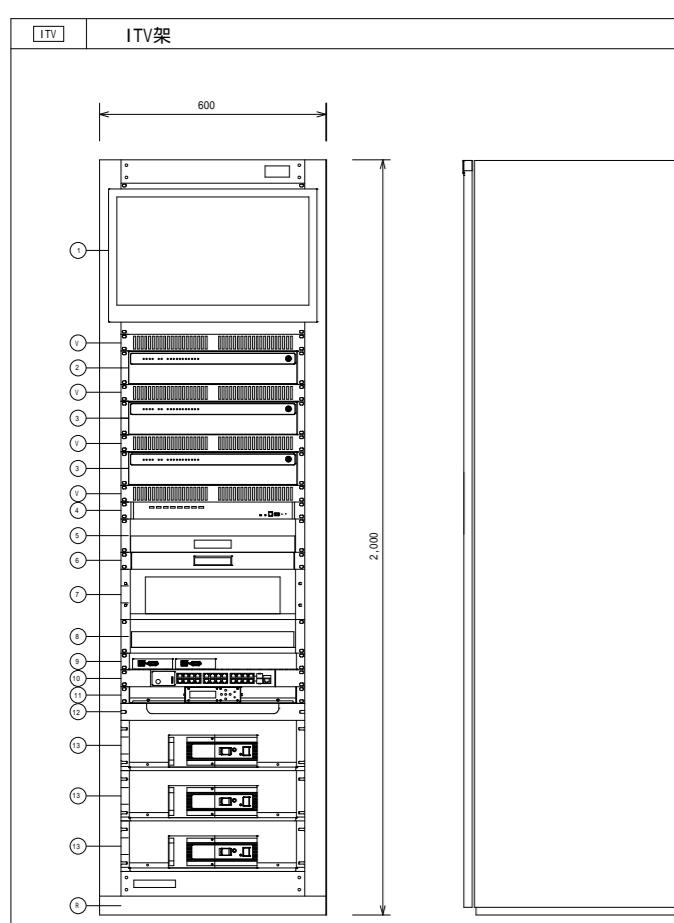
記号	名 称	備 考	本部長	音理幹	主 幹	主 查	担 当	一級建築士事務所	設計	製図	照合	縮 尺 A1: N5 A3: N5	工事名称	2 5 がんセンター本館棟 監視カメラ設備改修工事	図面番号
	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	山口 岩波 藤村 ○ 中村						晃 設備 設計 事務 所							
												設計年月日 R. 7. 12. 26	図面名称	監視カメラ設備 (セキュリティ) 改修後 系統図	E - 0 4

改修後 ITV設備 ブロック図

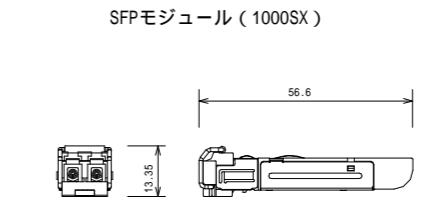


記号	名称
ITV	I T V 架
■	5 5 型液晶モニター (天吊)
PC	検索用 P C
PoE_A	P o E S W (L - 0 - 1)
PoE_B	P o E S W (1 6 ポート)
PoE_C	P o E S W (2 4 ポート)
PoE_D	P o E S W (1 T - 1)
PoE_E	P o E S W (L - 0 - 4)
PoE_F	P o E S W (L B - 0 - 1)
PoE_G	P o E S W (L - 0 - 3)
□_A	ネットワークカメラ (天井埋込)
□_B	ネットワークカメラ (壁付)
□_PTZ	ネットワークコンビネーションカメラ (天井埋込)
□_PTZ-P	ネットワークコンビネーションカメラ (ボール取付)
□_NP	ネットワークカメラ (屋外、壁付)
□_EV	E V 用ネットワークカメラ

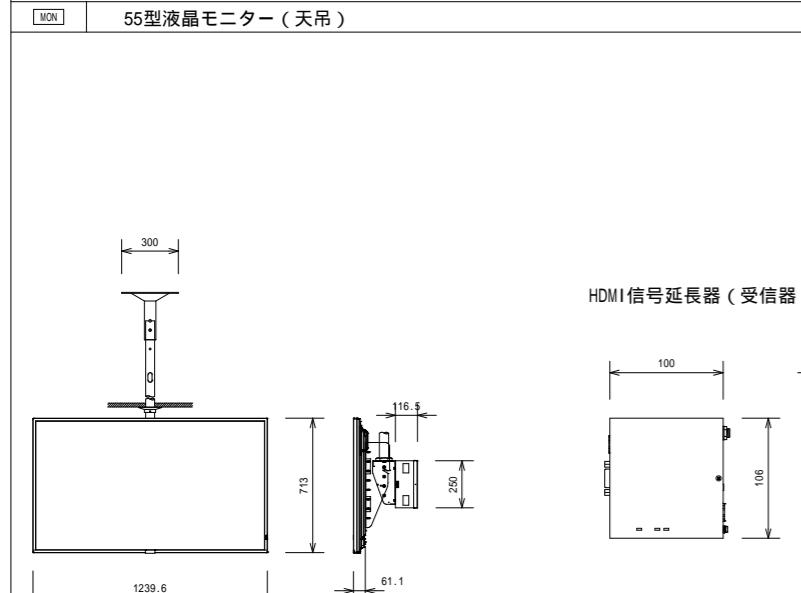
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長 山口	菅理幹 岩波	主 幹 藤村	主 查 ○	担 当 中村	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計 	製図 	照合 	縮 尺 A1:NS A3:NS	工事名称 25がんセンター本館棟 監視カメラ設備改修工事	図面番号 E-05
-----------------------------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	----------------------	--------	--------	--------	--------------------	---------------------------------	--------------



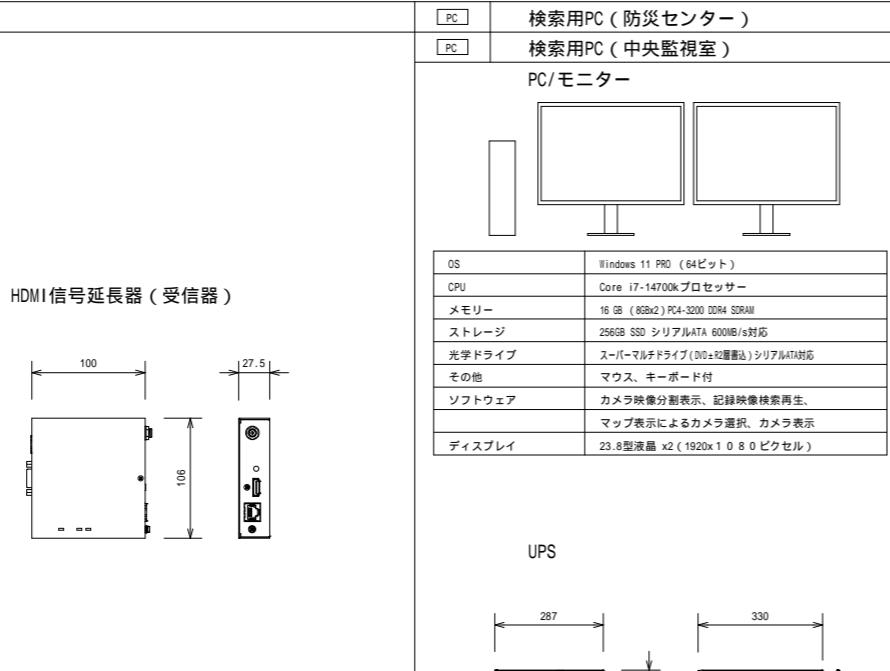
録画可能日数計算例 (H.265)					
レコーダ	解像度	録画レート	カメラ台数	HDD容量	録画可能日数
レコーダー(1)	1920x1080	15 ips	32台 (24時間連続)	6 TB x2	1ヶ月以上
レコーダー(2)	1920x1080	15 ips	34台 (24時間連続)	6 TB x2	1ヶ月以上
レコーダー(3)	1920x1080	15 ips	34台 (24時間連続)	6 TB x2	1ヶ月以上



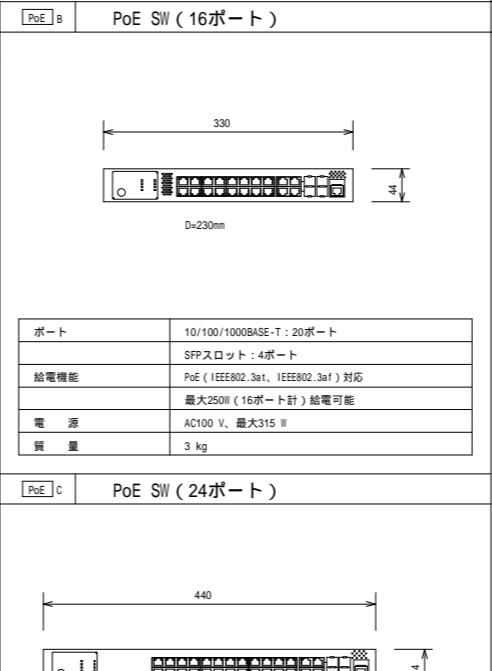
ポート数	1000BASE-LX: 1ポート
コネクタ形状	LCコネクタ
動作環境温度	0 ~ 60
最大伝送距離	10km (SI)
DMI対応	



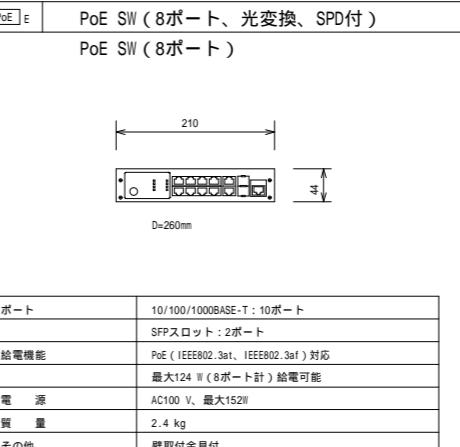
機器収納ボックスの形状、寸法は参考とする。	
パネル最大解像度	3840 x 2160
入力端子	DisplayPort、HDMI x2
スピーカー出力	10 W x 10 W
連続稼働時間	24時間
制御入出力	RS-232C、LAN
電 源	AC100 V、110 W
質 量	約26.4 kg (本体のみ)
天吊金具	モニター傾斜調整3段階 (0°・10°・20°)
	機器収納ボックス、HDMI延長受信器(2台)付



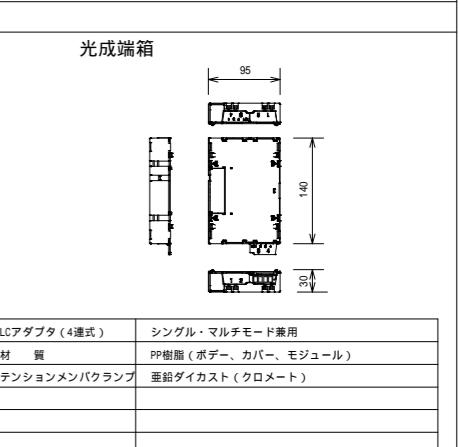
電 源	DC 5V (専用ACアダプタ付属)
入力信号	HDBaseT (RJ-45)
出力信号	HDMI (HDCP対応、バススルー)、 RS-232C信号、LAN信号
対応フォーマット	VGA ~ 4K、480i ~ 1080p/4K
最大延長距離	100m、150m (ロングリーコード時)
運転方式	常時商用給電方式
定格入力電圧	AC100 V
入力最大電流	7.5 A
出力定格容量	500 VA / 300 W
インターフェース	RS-232C/USB/接点信号入出力
質 量	約6 kg



ポート	10/100/1000BASE-T : 28ポート
	SFPスロット : 4ポート
給電機能	PoE (IEEE802.3at、IEEE802.3af) 対応
	最大185 W (24ポート計) 給電可能
電 源	AC100 V、最大233 W
質 量	3.9 kg

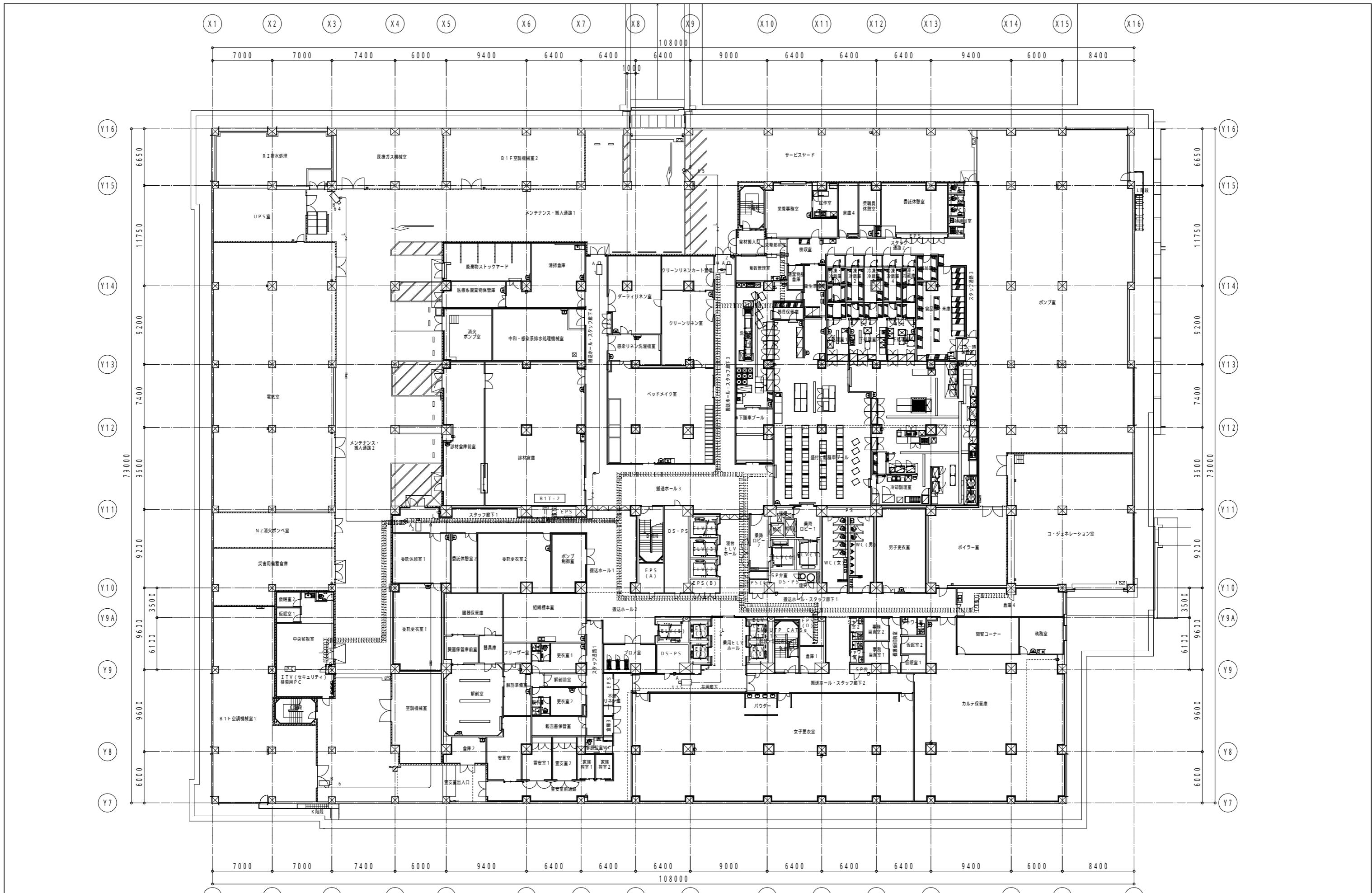


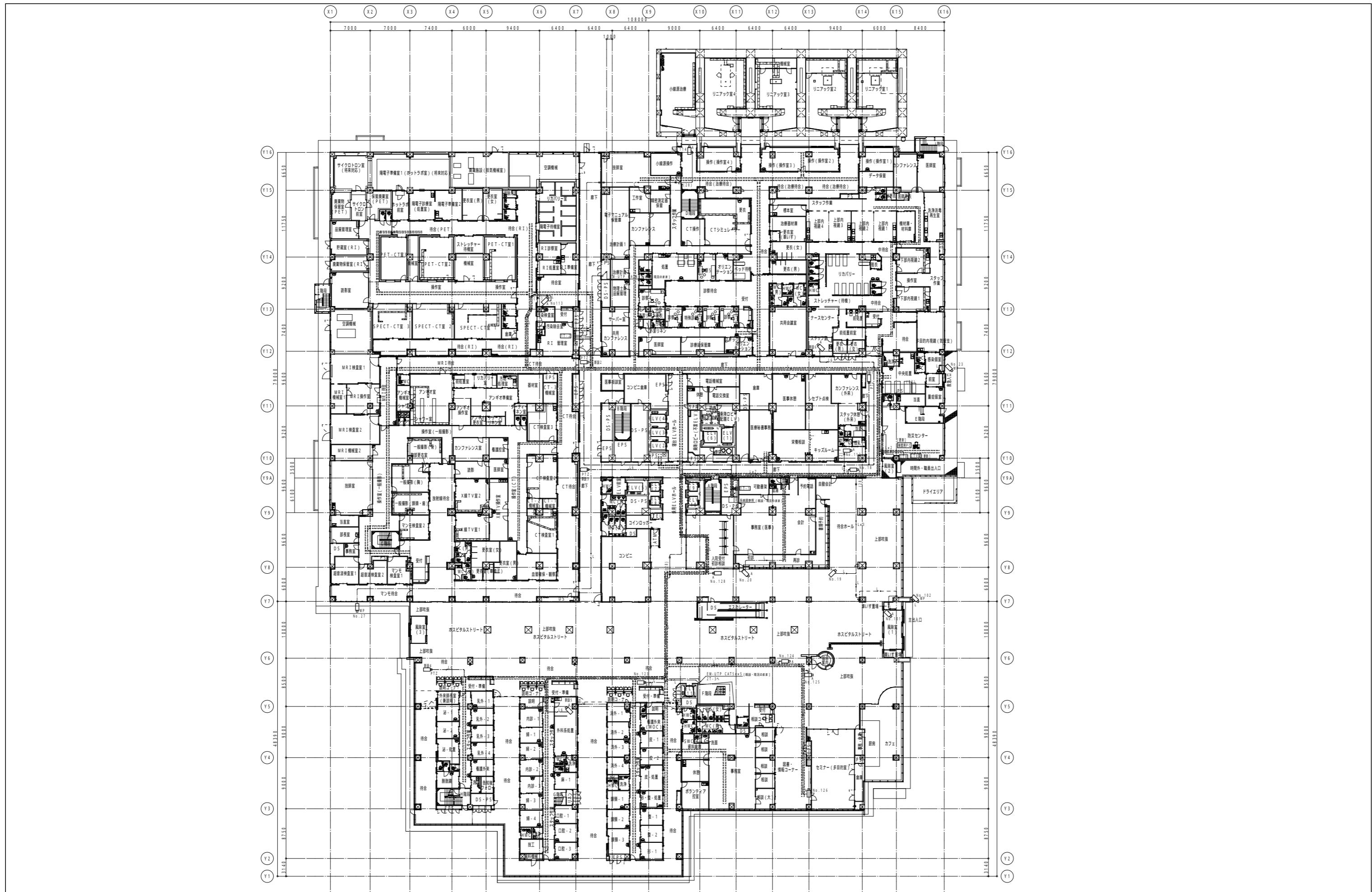
ポート数	1000BASE-LX:1ポート
コネクタ形状	LCコネクタ
動作環境温度	0~60
最大伝送距離	10km(SI)
DMI対応	



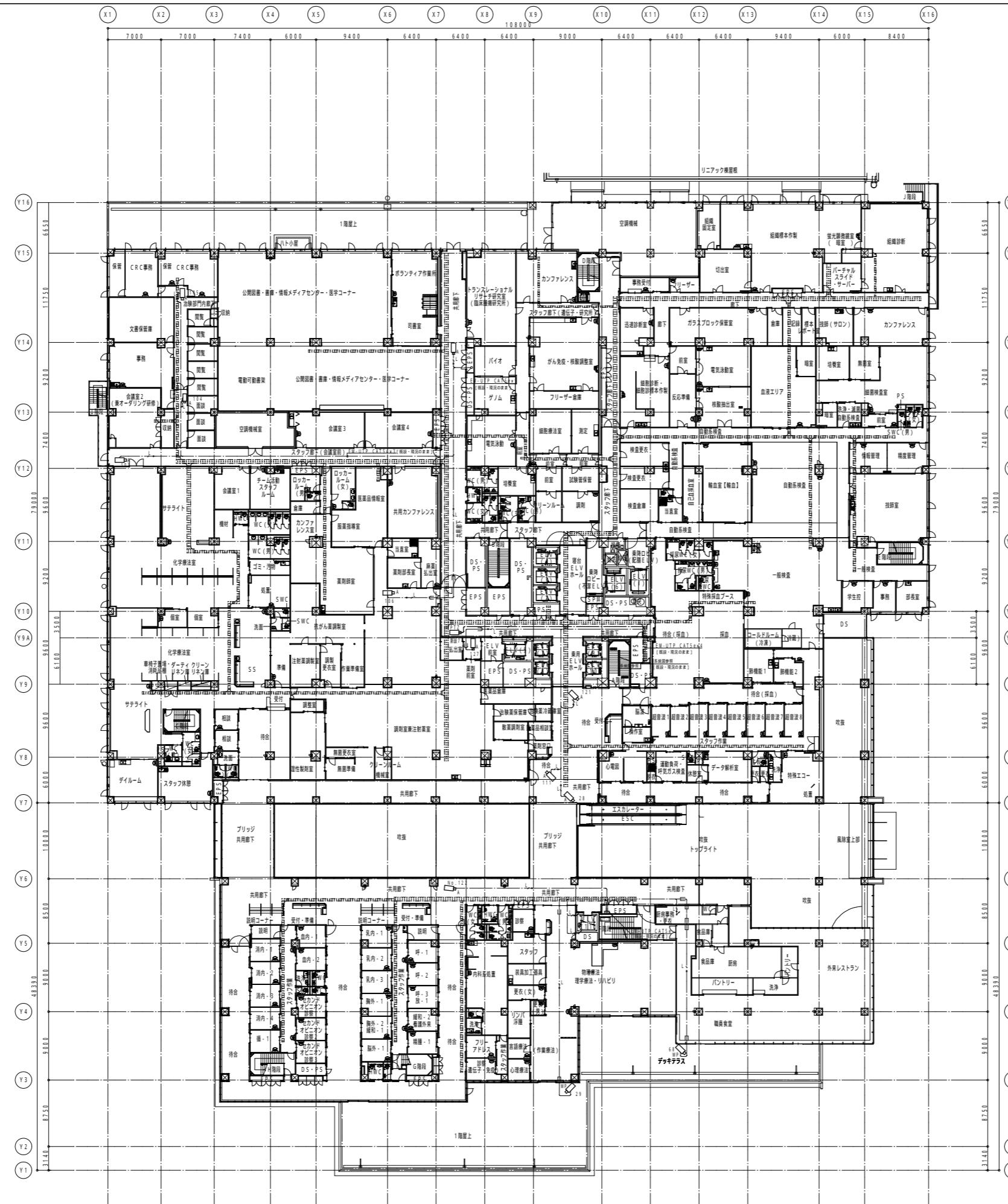
規格	
対応通信環境	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T
	PoE、PoE+、PoE++、HDBaseT
最大連続使用電圧	60V DC
定格電流	2 A
電圧防護レベル	500 V以下
その他	SPD機能表示、劣化接点出力

<p>PoE F SW HUB (8ポート、光変換) PoE SW (8ポート)</p> <p>ポート 10/100/1000BASE-T: 10ポート SFPスロット: 2ポート 給電機能 PoE (IEEE802.3at, IEEE802.3af) 対応 電源 AC100 V、最大152W 質量 2.4 kg その他 壁取付金具付</p> <p>光成端箱 (LB-0-1内設置)</p> <p>LCアダプタ (4連式) シングル・マルチモード兼用 材質 PP樹脂 (ボディ、カバー、モジュール) テンションメンバクランプ 垂吊ダイカスト (クロメート)</p> <p>2台</p>	<p>ネットワークカメラ (天井埋込)</p> <p>フレームサイズ 1920x1080~320x240、コリドール表示設定可 最低被写体照度 カラー: 0.05 lx、白黒: 0.02 lx 画像圧縮方式 H.265/H.264/JPEG レンズ 焦点距離: f=3.3 mm~9.7 mm フレームレート 最高30 fps 機能 デイナイト、プライバシーマスク、microSDカード記録、赤外照明 (25 m)、電動ズーム、電動フォーカス、ヒーター内蔵 検出機能 壁き取り検出、持ち去り検出、ラインクロス検出 電源 DC12 V、PoE (IEEE802.3af準拠)</p>	<p>EV用ネットワークカメラ</p> <p>フレームサイズ 1920x1080~320x240、コリドール表示設定可 最低被写体照度 カラー: 0.05 lx、白黒: 0.02 lx 画像圧縮方式 H.265/H.264/JPEG レンズ 焦点距離: f=3.3 mm~9.7 mm フレームレート 最高30 fps 機能 デイナイト、プライバシーマスク、microSDカード記録、赤外照明 (25 m)、電動ズーム、電動フォーカス、ヒーター内蔵 検出機能 壁き取り検出、持ち去り検出、ラインクロス検出 防塵防水性能 IP66準拠 (JIS C 0920) 電源 DC12 V、PoE (IEEE802.3af準拠)</p>	<p>屋外ネットワークコンビネーションカメラ (ポール取付)</p> <p>機像デバイス 1/2.8型 CMOS プログレッシブスキャン 最低被写体照度 カラー: 0.03 lx、白黒: 0.015 lx 焦点距離 4.3 mm~129 mm (光学 30倍) 電子ズーム 最大8倍 回転角度 水平: 360° エンドレス、垂直: -6° ~186° 画像圧縮方式 H.265, H.264, JPEG フレームサイズ 1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240 フレームレート 最高60 fps ネットワーク RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX) 付加機能 ワイドダイミックレンジ、霧除云、動き検出、イメージスタビライザ、プライバシーマスク 防塵防水性能 IP66準拠 (JIS C 0920) 氷結時損傷保護 UL50E (NEMA 4X相当) 電源 AC24 VまたはPoE++ その他 LAN用SPD、収納ラボックス付</p>
<p>SFPモジュール (1000SX)</p> <p>LAN用SPD</p> <p>2台</p> <p>ポート数 1000BASE-LX: 1ポート ポート 形状 LCコネクタ 動作環境温度 0~60 °C 最大伝送距離 10km (SL) DMT対応 電圧保護レベル 500 V以下 その他 SPD機能表示、劣化接点出力</p>	<p>ネットワークカメラ (壁付)</p> <p>フレームサイズ 1920x1080~320x240、コリドール表示設定可 最低被写体照度 カラー: 0.05 lx、白黒: 0.02 lx 画像圧縮方式 H.265/H.264/JPEG レンズ 焦点距離: f=3.3 mm~9.7 mm フレームレート 最高30 fps 機能 デイナイト、プライバシーマスク、microSDカード記録、赤外照明 (25 m)、電動ズーム、電動フォーカス、ヒーター内蔵 検出機能 壁き取り検出、持ち去り検出、ラインクロス検出 電源 DC12 V、PoE (IEEE802.3af準拠)</p>	<p>ネットワークカメラ (壁付)</p> <p>フレームサイズ 1920x1080~320x240、コリドール表示設定可 最低被写体照度 カラー: 0.05 lx、白黒: 0.02 lx 画像圧縮方式 H.265/H.264/JPEG レンズ 焦点距離: f=3.3 mm~9.7 mm フレームレート 最高30 fps 機能 デイナイト、プライバシーマスク、microSDカード記録、赤外照明 (25 m)、電動ズーム、電動フォーカス、ヒーター内蔵 検出機能 壁き取り検出、持ち去り検出、ラインクロス検出 防塵防水性能 IP66準拠 (JIS C 0920) 電源 DC12 V、PoE (IEEE802.3af準拠)</p>	<p>ネットワークコンビネーションカメラ (天埋)</p> <p>機像デバイス 1/2.8型 CMOS プログレッシブスキャン 最低被写体照度 カラー: 0.03 lx、白黒: 0.015 lx 焦点距離 4.3 mm~129 mm (光学 30倍) 電子ズーム 最大8倍 回転角度 水平: 360° エンドレス、垂直: -6° ~186° 画像圧縮方式 H.265, H.264, JPEG フレームサイズ 1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240 フレームレート 最高60 fps ネットワーク RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX) 付加機能 ワイドダイミックレンジ、霧除云、動き検出、イメージスタビライザ、プライバシーマスク 防塵防水性能 IP66準拠 (JIS C 0920) 氷結時損傷保護 UL50E (NEMA 4X相当) 電源 AC24 VまたはPoE++ その他 LAN用SPD、収納ラボックス付</p>
<p>SW HUB (L-0-3内設置)</p> <p>ポート 10/100/1000BASE-T: 10ポート SFPスロット: 2ポート 給電機能 PoE (IEEE802.3at, IEEE802.3af) 対応 電源 AC100 V、最大152W 質量 2.4 kg その他 壁取付金具付</p> <p>LAN用SPD</p> <p>3台</p> <p>ポート 10/100/1000BASE-T: 10ポート SFPスロット: 2ポート 給電機能 PoE (IEEE802.3at, IEEE802.3af) 対応 電源 AC100 V、最大152W 質量 2.4 kg その他 壁取付金具付</p> <p>ポート数 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート 形状 PoE, PoE+, PoE++, HDBaseT 動作環境温度 60V DC 定格電流 2 A 電圧保護レベル 500 V以下 その他 SPD機能表示、劣化接点出力</p>	<p>ネットワークカメラ (屋外、壁付)</p> <p>フレームサイズ 1920x1080~320x240、コリドール表示設定可 最低被写体照度 カラー: 0.05 lx、白黒: 0.02 lx 画像圧縮方式 H.265/H.264/JPEG レンズ 焦点距離: f=3.3 mm~9.7 mm フレームレート 最高30 fps 機能 デイナイト、プライバシーマスク、microSDカード記録、赤外照明 (25 m)、電動ズーム、電動フォーカス、ヒーター内蔵 検出機能 壁き取り検出、持ち去り検出、ラインクロス検出 電源 DC12 V、PoE (IEEE802.3af準拠)</p>	<p>ネットワークコンビネーションカメラ (天埋)</p> <p>機像デバイス 1/2.8型 CMOS プログレッシブスキャン 最低被写体照度 カラー: 0.03 lx、白黒: 0.015 lx 焦点距離 4.3 mm~129 mm (光学 30倍) 電子ズーム 最大8倍 回転角度 水平: 360° エンドレス、垂直: -6° ~186° 画像圧縮方式 H.265, H.264, JPEG フレームサイズ 1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240 フレームレート 最高60 fps ネットワーク RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX) 付加機能 ワイドダイミックレンジ、霧除云、動き検出、イメージスタビライザ、プライバシーマスク 防塵防水性能 IP66準拠 (JIS C 0920) 氷結時損傷保護 UL50E (NEMA 4X相当) 電源 AC24 VまたはPoE++ その他 LAN用SPD、収納ラボックス付</p>	<p>屋外SPDボックス</p> <p>ポート数 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート 形状 PoE, PoE+, PoE++, HDBaseT 動作環境温度 60V DC 定格電流 2 A 電圧保護レベル 500 V以下 その他 SPD機能表示、劣化接点出力</p>

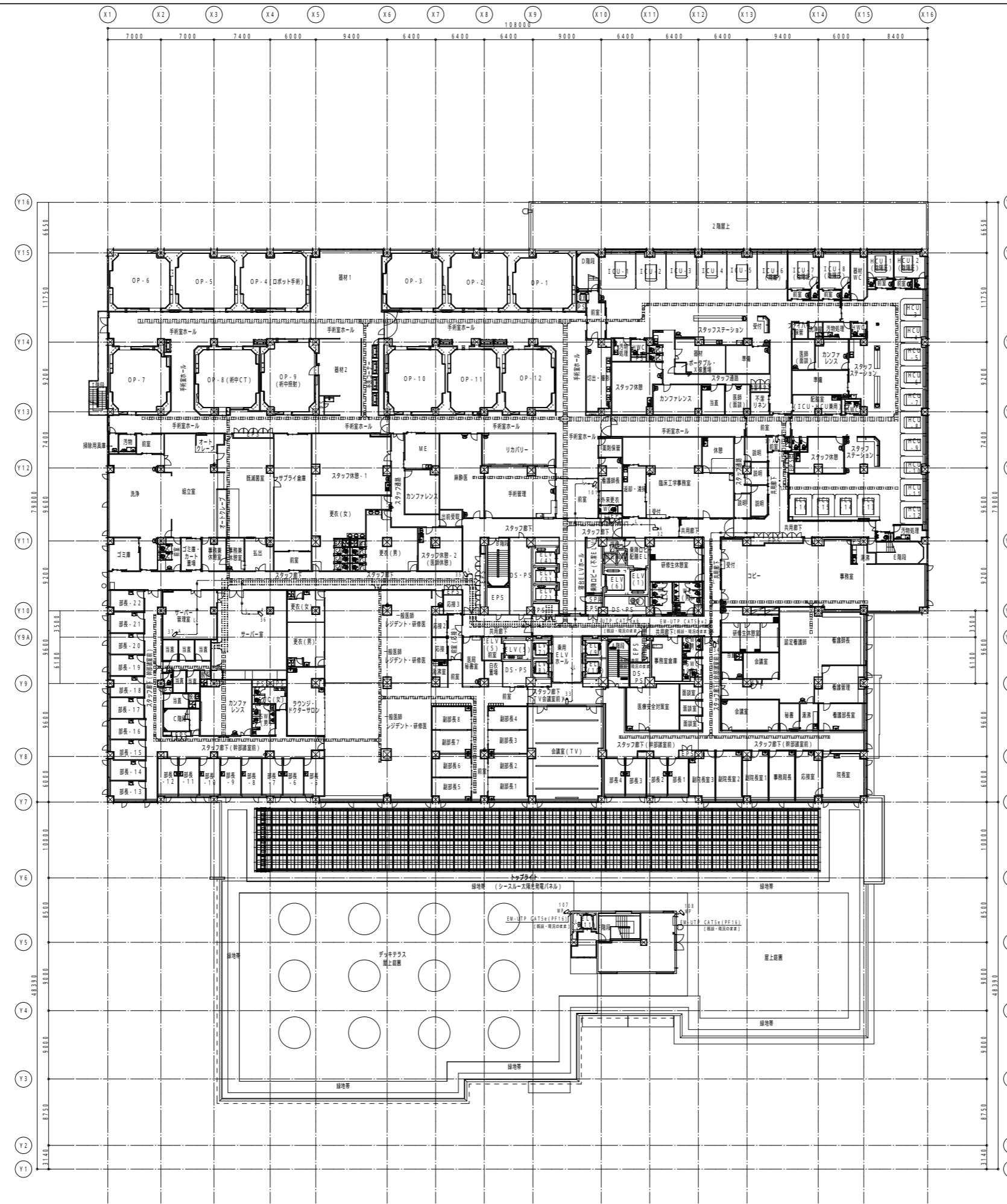




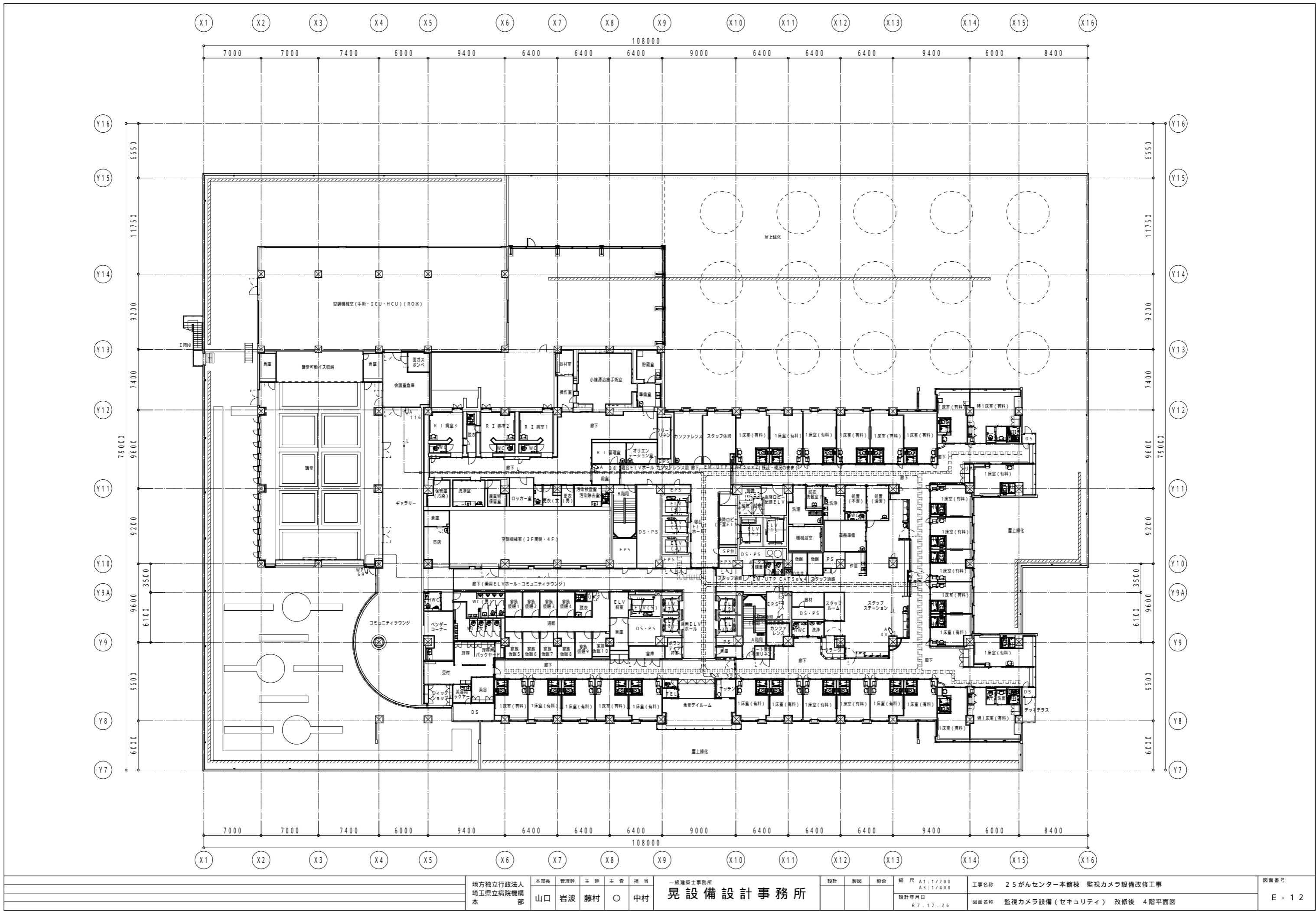
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長 山 口	管理幹 岩 波	主 幹 藤 村	主 直 ○	担 当 中 村	一級建築士事務所 晃 設 備 設 計 事 務 所	設計 設計年月 R 7 1 2 2 6	製図 A 1:1/300 A 3:1/600	照合	縮 尺 A 1:1/300 A 3:1/600	工事名称 2.5 がんセンター本館棟 監視カメラ設備改修工事	図面番号 E - 0 9
-----------------------------	------------	------------	------------	----------	------------	-----------------------------	---------------------------	------------------------------	----	----------------------------	-----------------------------------	-----------------

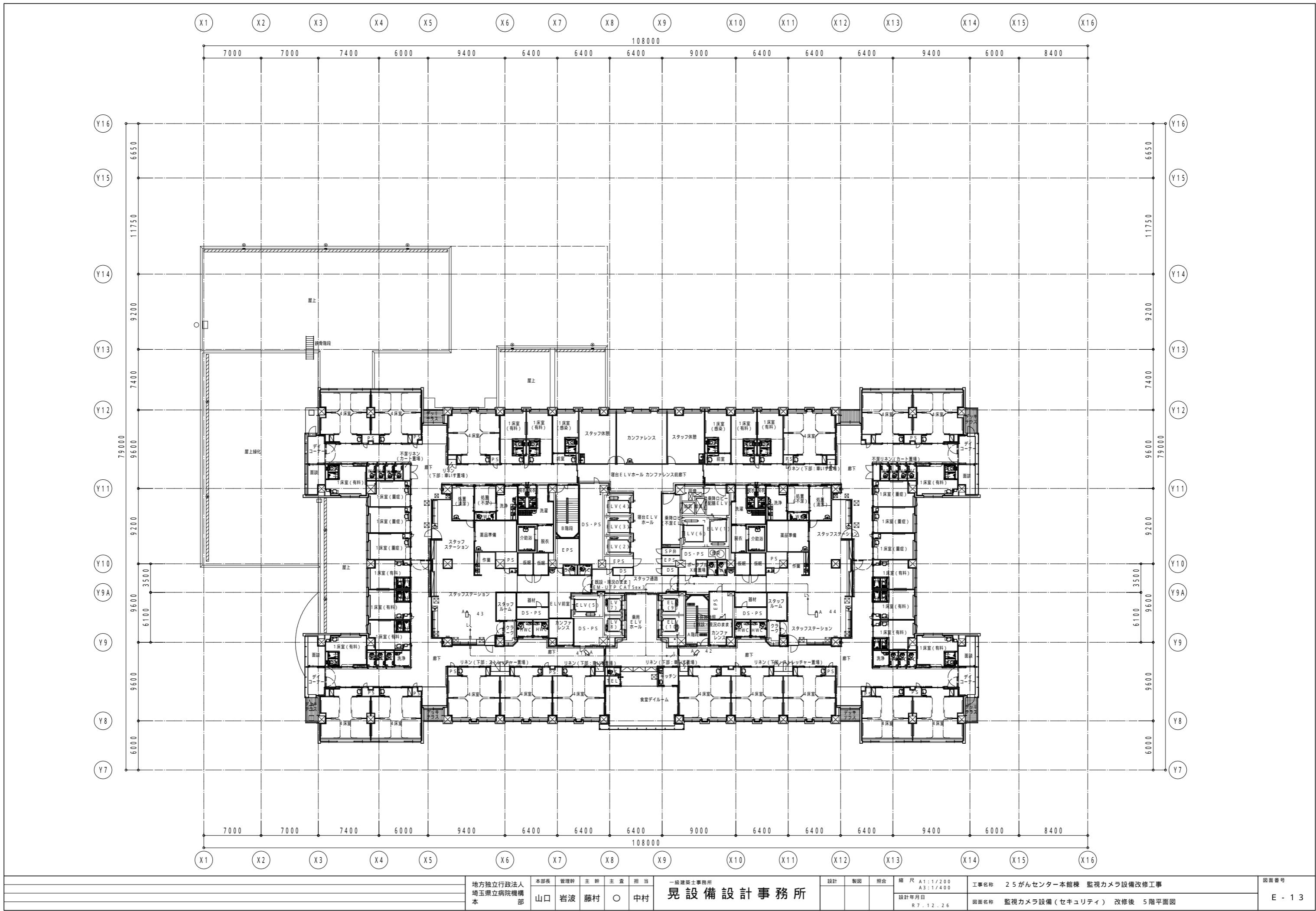


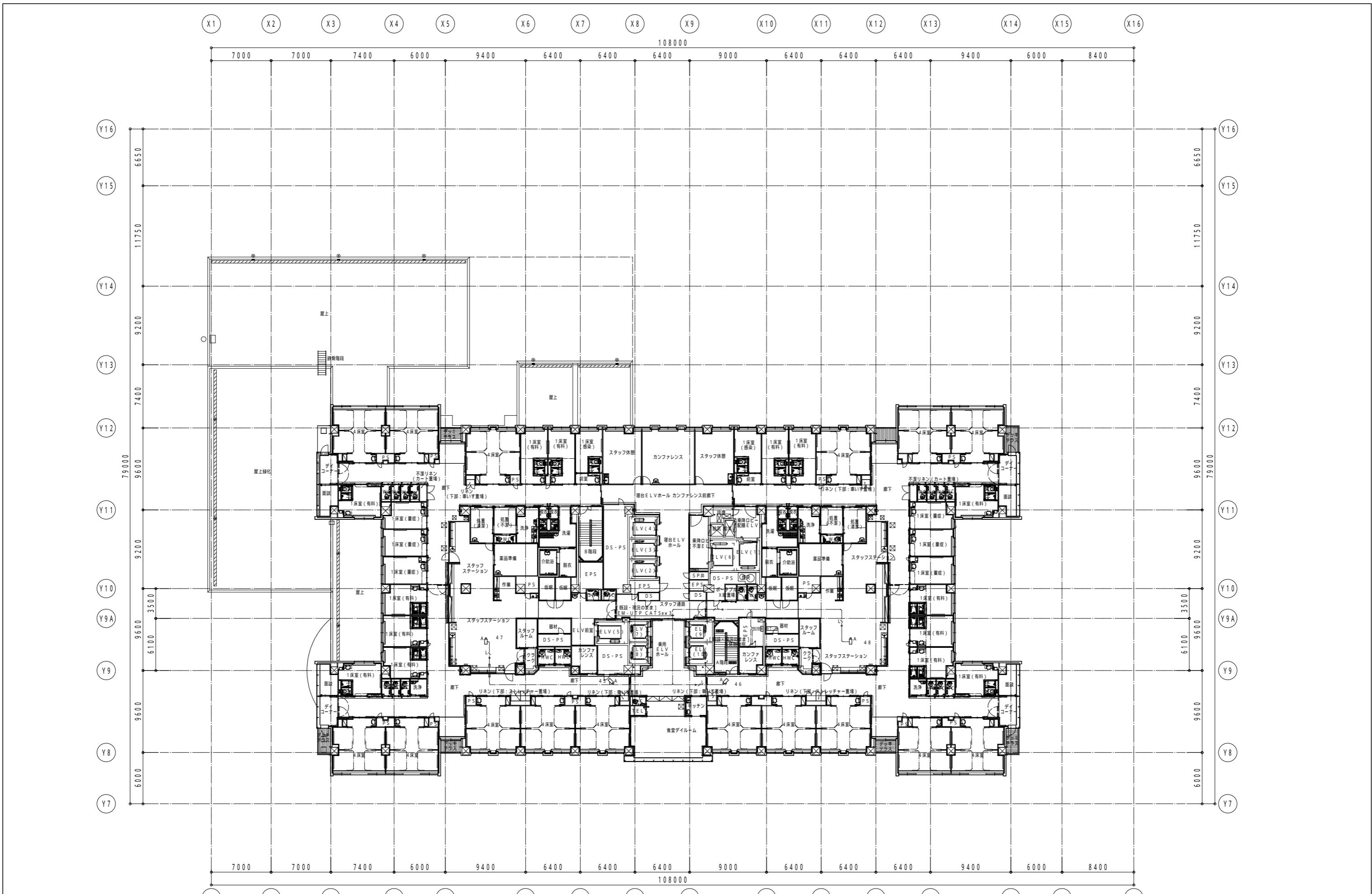
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	菅理幹	主 幹	主 查	担 当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮 尺 A1:1/300 A3:1/600	工事名称 25がんセンター本館棟 監視カメラ設備改修工事	図面番号 E - 1 0
	山口	岩波	藤村	○	中村					設計年月日 R7.12.26	図面名称 監視カメラ設備(セキュリティ)改修後 2階平面図	



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	部長	菅理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	工事名称 25がんセンター本館棟 監視カメラ設備改修工事 設計年月日 R7.12.26	図面名称 監視カメラ設備(セキュリティ)改修後 3階平面図	図面番号 E-11
	山口	岩波	藤村	○	中村							







地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	菅理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 25がんセンター本館棟 監視カメラ設備改修工事	図面番号
	山口	岩波	藤村	○	中村							
設計年月日 R.7.12.26						図面名称 監視カメラ設備(セキュリティ)改修後 6階平面図		E-14				